



6月は
男女平等
月間

2016 トツプリーダー 男女平等参画推進宣言



日本労働組合総連合会山形県連合会
会長 **岡田 新一**

山形県内での全雇用者に占める女性の割合は年々上昇し、5割近い状況となっています。働く女性がますます増えるなかで、「持続可能な社会」に向けて、男女平等参画の取り組みは重要な課題となっています。とりわけ、男女が共に均等な機会と待遇で仕事と家事・育児・介護を両立できる環境づくりが重要です。そのために、連合山形は「連合山形第4次男女平等アクションプラン」(2014年～2020年)達成に向けて全力で取り組みます。



連合山形男女平等委員会委員長
全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会山形地域協議会 (電機連合)
議長 **井上 雄吾**

電機連合西奥羽地方協議会「男女平等政策推進委員会」で実施したアンケート結果から明らかになった課題(①労働組合としての「男女平等」に対する取り組み姿勢の課題 ②労働組合が取り組む「男女平等推進」の活動に対し理解を得られていないという課題 ③各種制度に対する認知度が低いという課題)について、具体的な活動方針を立て積極的に推進し、男女が共にいきいきと活躍できる職場環境づくりに取り組みます。



日本教職員組合山形県教職員組合(県教組)
執行委員長 **小口 裕之**

子どもたちを送り出す社会が、男女が平等に活躍できる社会になるよう推進計画をもとに県教組を挙げてとりくんでいきます。女性の社会での活躍を阻害する、家庭内の性別による役割分担についても議論を深めていきます。



全国交通運輸労働組合連合会山形県支部 (交通労連)
委員長 **水戸 吉一**

トラック、バス、ハイヤー・タクシーなどの交通運輸産業は、典型的な男性中心の労働集約型産業であり、女性の進出が遅れています。一方で景気回復による採用難や労働者の高齢化等によって、人手不足が深刻な状況にあります。私たち交通労連は、男女平等参画社会に向けて、働く人たちの意識改革に向けた取り組みや、働きやすい職場環境の整備や制度の実現に向けた取り組みを企業や業界団体と連携強化していきます。



全日本自治団体労働組合山形県本部 (自治労)
執行委員長 **森 伊織**

男女平等課題を自治労運動すべてに関わる課題として捉え「雇用主要求による男女平等の実現」「地方・国への政策要求による男女平等の法制度・社会環境の整備」「労働組合における男女平等参画」の実現をめざし取り組みます。



情報産業労働組合連合会山形県協議会 (情報労連)
議長 **丹野 忍**

私達は、第2次男女平等参画推進計画に基づき、浸透・展開・参加・育成を観点に計画策定100%、指導的地位の女性割合30%、女性参画率30%、組織の女性役員選出100%など6月を啓発月間に掲げ取り組みます。



U A セン山形県支部
支部長 **角谷 俊一**

「女性総活躍社会」は、長時間労働が美徳とされてきた男性中心の社会構造を転換し、企業の成長と子供の成長も同時にできる働き方を構築しなければならない。労働組合とそのリーダーは、幸せを実感できる社会の実現に今こそ行動しよう。



山形県東北電力関連産業労働組合連合会 (電力総連)
会長 **伊藤 幹男**

電力総連は、「男女が平等にいきいきと働くことができる職場や社会環境づくりのための方策」を策定し、仕事と育児・介護の両立支援を一層推進するため、男女共に子育てや介護をしながら働き続けることができる職場環境の整備と、女性活躍推進に向け、職場実態や課題の把握を行いながら行動計画に反映するよう積極的に取り組んでいきます。



J A M 南東北山形県連絡会
会長 **金子 浩**

男女が互いの人間性や人格、そして人権を尊重しあい、責任を分かち合い、性別に関わらず、その個性と能力を充分発揮できる男女平等社会の実現をめざします。



日本郵政グループ労働組合山形連絡協議会 (JP労組)
議長 **伊藤 学**

男女平等参画の浸透と女性活動の促進に向け、仕事と生活の調和をはかり、ワーク・ライフ・バランスを意識し、次世代育成支援対策を通じた男女平等参画の推進に取り組めます。東北地本は、各種会議等で必要に応じ「託児施設」対応を行い、参加しやすい環境づくりに努めています。



全日本水道労働組合東北地方本部山形県支部 (全水道)
執行委員長 **今野 朋明**

全水道山形県支部は、女性が仕事も家庭も大事にしながら働ける職場づくりと女性の活躍の場の拡大に向け積極的に取り組んでいます。組合活動でも役員への登用など、女性リーダーの養成も強力に推し進めます。



全日本自動車産業労働組合連合会山形地方協議会 (自動車総連)
議長 **佐藤 篤志**

女性が生き生きと活躍できる職場の拡大、仕事と家庭の両立実現(ワーク・ライフ・バランス)に向け、共に働く仲間同士が協力し合う職場づくりを積極的に推進します。



全日本運輸労働組合連合会山形県連合会 (運輸労連)
執行委員長 **大場 暁**

組織を活性化させ、社会を前進・発展させていくためには、女性の組合活動への参画が必要不可欠です。運輸労連は、男女平等参画の推進に向け、女性役員の登用、組合会議への参加率向上、女性が安心して働ける職場など環境整備に取り組めます。



全国労務労働組合連合会北日本総支部山形支部 (労務総連)
執行委員長 **大橋 清美**

2013年度に策定した「男女平等参画・均等均衡待遇推進計画」にもとづき、(1)労働組合活動への男女平等参画の実現、(2)男女ともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み、(3)均等・均衡待遇の実現に向けた取り組みに継続して取り組んでいきます。



政府関係法人労働組合連合会山形地連 (政労連)
議長 **井上 光治**

「わたしたちは、男女が互いの個性や能力を尊重し、協力し合える社会をめざします」



全国自動車交通労働組合連合会山形地方本部 (全自交労連)
執行委員長 **遠藤 栄二**

全自交労連としては、業種的に非常に女性進出が遅れています。人手不足が深刻化している今、労働条件の整備を行い、男女平等参画社会の実現に向けて取り組みます。



国公総連東北地区本部山形県協議会 (国公総連)
議長 **原田 薫**

女性の活躍の推進、仕事と生活の調和等のために構成組織の全組合員が男女平等参画への意識を高め、男女がともに参画しやすい条件整備など一層の取り組み強化を図っていきます。



全日本鉄道労働組合連合会山形県協議会 (JR総連)
議長 **渡辺 裕一**

JR総連は、個人の尊重と法の下での平等・男女平等がうたわれている日本国憲法を守り、女性の視点と声を大切に、ワーク・ライフ・バランスの充実と働きやすい職場環境の実現と、男女が平等に参画する社会の実現をめざし取り組みます。



基幹労連山形県本部
委員長 **臺丸谷 淳**

基幹労連の女性組合員の比率は約8%と少なく、男性組合員が中心となっております。男女平等参画社会の実現には、私たちが目指すワーク・ライフ・バランス社会と密接な関係にあり、男女が共に仕事と生活の調和をはかり、生きがいや働きがいのある男女平等社会をめざす事がポイントです。さらなる女性の組合活動への参画に向け、女性や若手組合員の意見や声をしっかりと反映させるよう、積極的な対話を推進していきます。



日本教職員組合山形県高等学校障がい児学校教職員組合 (高教組)
執行委員長 **佐藤 克**

誰かが我慢するのではなく、誰もが平等で共生する社会を子どもたちにつなげたいと運動しています。それには両性双方からの視点と、それぞれが家庭や社会活動に自立して参加することが不可欠です。ワーク・ライフ・バランスが取れているか? 高教組では自らの働き方に向き合うことを呼びかけています。



全日本森林関連産業労働組合連合会山形県協議会 (森林労連)
議長 **佐藤 剛**

森林・林業を相手にする業種柄、女性組合員が占める位置、割合はまだ低い状況にあります。林野労組においては、青年女性委員会を中心に女性運動の意識向上と職場実態改善をはかるため、女性集会の開催や職場実態交流から要求につなげ、男女平等・女性活動の強化に取り組んでいます。



東北労働金庫労働組合山形県支部
支部委員長 **芳賀 晃一**

男女平等共同参画社会の実現に向けて、男女ともに安心して働き続けられる職場環境をつくるために活動を進めます。労働組合への女性組合員の積極的な参画、組合役員への女性組合員の選出を進めるため環境整備に向けた具体的な取り組みを検討します。支部男女平等対策委員会を組織し、支部女性集会を開催し、議論を深めます。

連合山形は、雇用における男女平等の推進と、男女平等の視点に立った社会制度・慣行の見直しを推進します。